

令和3年度 第2回北広島市食育推進懇談会会議録

日時	令和3年12月21日（火）18時30分～20時15分
会場	保健センター検査室
出席委員	堀昌文委員、鶴沼美恵子委員、長島博子委員、中山敦子委員、 牧野沙知子委員、若林公一委員、前田優委員、槌本浩司委員、 藤井智子委員
欠席委員	東隆史委員
事務局	三上勤也保健福祉部長、影久真美健康推進課長、 遠藤智農政課長、岡謙一学校給食センター長、 楨田美有紀健康推進課主査
傍聴人	なし

1. 開会

2. 座長あいさつ

3. 議事

(1) 食生活に関する市民アンケート（18歳以上）結果報告について

- ・事務局から説明を行った。資料1のとおり。
- ・【委員】インターネット回収率が低い理由は。
【事務局】全体回収率は、前回調査時とほぼ変わらなかった。過去の調査からも、若い世代で回答率が低い傾向にあるため、結果的にインターネット回収率が低くなったと考えている。
- ・【委員】「朝食を食べている」と回答した人の食事の中身は、主食・主菜・副菜がそろっている人、菓子パンだけの人とそれぞれだと思うが、定義はあるか。
【事務局】回答者が考える「朝食」であり、アンケートで定義はしていない。

(2) 食生活に関する市民アンケート（小中学生）結果報告について

- ・事務局から説明を行った。資料2のとおり。
- ・【委員】朝食が「用意されていない」と回答した子どもの、用意されていない理由は分かるか。
【事務局】アンケートで理由は把握できなかったが、今後の課題だと捉えている。
- ・【委員】間食で食べている物がスナック菓子やアイス等、内容が気になる。
【事務局】食事で不足する栄養素を補給するため、子どもに間食は必要だと思

うが、超加工食品の脳への影響も分かってきており、何を選択するのが自分の身体や脳にとってよいかを保護者も、子ども自身も考えられるような啓発や学習が大切だと考えている。

- ・【委員】「いただきます」「ごちそうさま」の食事の挨拶をしているかの設問があること自体に驚いた。食事の挨拶は命をいただく礼儀で当たり前だと思っていた。挨拶をすることが当たり前になり、このアンケートの設問をとる必要がなくなる世の中になってほしい。
- ・【委員】北広島産食材が学校給食に使われている認知度が下がった。認知度が上がるような取り組みをしてほしい。
【委員】 これまでは学校の校内放送で食材の産地を紹介していたが、新型コロナウイルス感染症対策で黙食となり、校内放送も中止になっている。子ども達が給食について知る機会が少なくなっていることが一因と考えられる。
- ・【委員】朝食を欠食している子どもの中には、親が欠食している人も多い。習い事や塾、部活等で帰宅時間が遅く、就寝時間が遅くなり、朝食欲がないということも実態としてある。

(3) 第3次 北広島市食育推進計画（案）について

- ・事務局から説明を行った。資料3、資料4のとおり。
- ・各委員の立場で、北広島の食の課題解決のために実践、連携していきたい。
- ・【委員】自分の生活改善から家族、地域へとつながっていくと思う。
- ・【委員】ボールパークを活用しての食育はあるのか。
【事務局】日本ハムファイターズがSDGsで食育について掲げており、また、食農体験ができる企業がボールパークに入ることも公表されている。開業が先なので、詳細は今後検討だが、ボールパークという場所を利用して、様々なことが考えられると思う。また、防災食育センターも次期計画期間中に開設され、給食調理の見学やファイターズのパネル展等を行い、食に関する学習機能を備える予定となっている。
- ・【委員】P12は「生活リズム」「朝食が用意されていない」、P15は「就寝時間」がキーワードになっている。朝食を「必ず食べる」「時々食べる」と回答した子どもと就寝時間をクロス集計すると分析が深まると思う。また、図表10、図表11と孤食している子どもでクロス集計をすることも傾向が分かるかもしれない。循環器疾患に関連して「食塩」について、もう少し内容が盛り込まれるとよいと感じた。
【事務局】再度分析してみる。
- ・【委員】食品ロスの削減の推進に関する法律が令和元年10月に施行され、10月が「食品ロス削減月間」、10月30日が「食品ロス削減の日」となったため、

計画に入れてほしい。

【事務局】 検討する。

- ・【委員】 市総合計画では SDGs の記載があるが、本計画では記載しないのか。

【事務局】 総合計画では SDGs を記載したが、個別計画については記載の予定はない。

- ・【委員】 行政以外にも、食育について取り組んでいる団体がたくさんあるので資料編の中に活動内容を記載してほしい。

【事務局】 食育について活動している団体は幅広く、どこまで掲載するか判断が難しかったことから、資料編には行政の活動のみ掲載していた。掲載方法については、再度検討する。

- ・【委員】 子どもの貧困対策は、計画ができていても実行できないと意味がない。どう展開していくかが、これから大事になってくると思う。
- ・【委員】 道産食材の購入理由が「鮮度がよいから」「安心・安全だから」「味がよいから」という内容が多くよかったと思う。
- ・【委員】 ライフステージの中で「何を」「どれだけ」食べたらよいか、安心して安全な食べ物を口にすることはとても大切だと思う。資料編の「ライフステージごとの食品の目安」は、基準ができるので良いと思う。

4. その他

- ・ 次回の懇談会は、パブリックコメント終了後の令和 4 年 3 月に開催予定。

5. 閉会